

Museum
and
Theatre
Information

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

ART NEWS TOKYO

2016
01-03



財団法人東京都歴史文化財団
FOUNDATION FOR EDO-TOKYO
HISTORY AND CULTURE

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

pickup!



スタジオ設立30周年記念 ピクサー展
3月5日～5月29日 東京都現代美術館
ポップ・ホーリー〈ウッディとバス〉
『トイ・ストーリー』(1995年)
複製(マーカー、鉛筆/紙)
© Disney/Pixar

東京都歴史文化財団への
ご支援のお願い

公益財団法人東京都歴史文化財団では、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や、日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に対しまして、当財団が主催する事業や展覧会に対するご支援を広くお願いしております。詳細は25ページをご覧ください。

Museum
and
Theatre
Information

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

ART NEWS TOKYO

2016
01-03



財団法人東京都歴史文化財団
FOUNDATION FOR EDO-TOKYO
HISTORY AND CULTURE



冬のアート
ナビゲーター
ダンサー・振付家
近藤良平
Art Navigator
of Winter
Dancer/
Choreographer:
Condors
Ryohei Kondo

RYOHEI KONDO

近藤良平

冬の
アートナビゲーター
ダンサー・振付家
近藤良平
Art Navigator of Winter
Dancer/Choreographer:
Condors
Ryohei Kondo



アートとエンターテインメントのジャンルを自在に越境するダンスカンパニー〈コンドルズ〉主宰として、またソロダンサー、振付家として活躍を続ける近藤良平さん。近年は、一般の人を対象にしたワークショップも精神的に行っています。そのひとつ〈ダンスファーム〉の活動拠点である東京芸術劇場でお話をうかがいました。

Photo: Atsuko Kitaura Text: Naoko Goda 撮影協力：東京芸術劇場

SPECIAL INTERVIEW
RYOHEI KONDO



ダンスの世界を耕すことで 裾野を広げていきたい

Ryohei Kondo Cultivates the World of Dance in the Wish of Expanding It

学ランを着て スイッチが入る

コンドルズが活動を始めた1996年当時、コンテンポラリーダンス、演劇、音楽などはそれぞれ独立したジャンルとして確立していて、僕らのようなダンス作品のなかにコントもあれば楽器演奏もあり、映像や人形劇もありというスタイルは、結構珍しいものでした。あえて先駆的なことに挑んできたつもりはなく、自分たちが楽しいと思うことをやっていたら、いつのまにか20年が経っていたというのが実感です。

詰め襟の学生服、いわゆる学ランを揃いの衣装に決めたのは、結成当時、メンバー全員が用意しやすい服だったことも理由ですが、何より自分たちのイメージにじっくりきたから。自分を含め結成時からのメンバーたちは、本来学ランを着るべき世代から日々遠ざかっているわけですが、意外にも男性の学ランは、着続けてもその年齢なりにさまになることがわかってきました。今ではサラリーマンの人がスーツを着ると仕事のスイッチが入るのと同じように、学ランに袖を通すことで「コンドルズのスイッチ」が入るようになっていきます。

海外公演の際には、日本製アニ

メ作品のなかでキャラクターがよく着ている服というイメージも広まっているようです。コンドルズも学ランを着たフィギュアのように楽しんでもらっている一面も感じます。

いい方に転がる ハプニング

これまで海外公演で行った国は30カ国ほど。毎回ほとんど、現地で僕らを知っている人は少なく、僕らもその国の空気をつかめていない、お互いにピュアな状態で始まります。緊張しますが、たいていお客さんたちの方が、何らかの方法でその緊張を壊してくれます。

先日行った南アフリカでは、観にきた人の大半がすでにワインを飲んでご機嫌な状態で開演しました。舞台にいちいち大声でヤジが飛んでくるのですが、それが決して嫌な感じではなかったんです。それから韓国で、頑張っって覚えていった韓国語のセ



地下1階の2つの劇場、2つのギャラリーにつながるロワー広場

リフがうまく伝わらなかったとき、ひとりのお客さんが立ち上がり「あいつはこう言いたいんだ」と客席全体に説明してくれて、それが不思議な盛り上がりにつながったこともありました。

アメリカの田舎町ではスモークを焚きすぎて消防車を出動させてしまったこともあり、楽しいハプニングばかりではありませんが、自分たちの計算通りに進まないときに日本では考えられないリアクションに救われたエピソードは、公演ごとに増えていっています。

動けなければ 揺さぶるといい

幼児からシニアまで、さまざまな年代の人を対象にワークショップを行う機会がありますが、見ていると身体表現の年齢的な節目は、おおよそ小学校高学年から中学校。大半の人は、そのあたりで急激に表現力が落ちていきます。それまでは、みんな楽しくクルクル回ったり、騒いだりできていたのが、衝動を抑えることが美德という空気のなかで、シューンとなっていってしまう。そして体調を崩したりしない限り、自分の身体について考えることもないまま年を取っていきます。この状況はやはり問題だと思っ

RYOHEI KONDO

ART SPOTS
RECOMMENDED BY
RYOHEI KONDO



近藤良平さんの おすすめアートのスポット

毎日の犬の散歩のほか、自転車でも池袋周辺の街めぐりを楽しんでいるという
近藤さんに、お気に入りの場所を4つ教えていただきました。

Ryohei Kondo enjoys walking his pet dog and cycling around the Ikebukuro district. He shared his favorite spots with us.

ています。
僕のワークショップでは「自由に動いてください」とは言いません。それは僕でも難しいし、なにより恥ずかしい(笑)。どう動いていいかわからない人には、たとえばふたり一組で揺さぶり合ってもらいます。それでとりあえず身体は動かし、案外、ほぐれるきっかけになりますから。受講したから踊れるようにならずと焦る必要もないし、リズム感もあれば楽しいけれど絶対ではない。大事なのは身体が動くこと、それを楽しみと覚えることです。自分のなかで一歩何かが動いて身体が目覚めるような体験を、ひとりでも多くの人にしてもらいたいのので、50代の生徒さんが予想以上に動けるようになっていったりと、やはり嬉しさを感じます。

2013年からは東京芸術劇場との共同企画として、一般参加の市民のみなさんとワークショップを通じてダンスを生み育てるプロジェクト(ダンスファーム)を始動しました。2015年1月に〈近藤良平のモダン・タイムス〉として区切りの収穫公演を行いました。その後も長期的なビジョ



アトリウム内ボックスオフィス上のソファにて

ンを描いて続けています。ダンスの畑を耕し、裾野をできるだけ広げて、劇場文化の層を増やしていければ、素晴らしいことですね。

In 1996 when Condors started their activities, it was very rare for us to bring together a mix of dance, comedy, instrumental performances, motion pictures and puppet shows. I didn't intend to take up the challenge of pioneering new things, but we've been doing things we feel are enjoyable for ourselves. Twenty years have already passed since then. So far, we've visited about 30 countries for our performances. Few people know about us at each place we go. We also don't know about the atmosphere in the given country. So, we start by being "pure" toward each other on both sides (performers and audience). We are very nervous at first but most of time, our audiences break the ice with their reactions.

At my class, I don't say things like: "Please move freely. Do whatever you want. Move with no specific purpose." Doing that would be difficult even for me. Moreover, it is embarrassing. For people who do not know how to move their own bodies, I suggest forming into pairs and shaking each other. That will move your bodies and help bring further movement. It is not necessary to be able to dance from taking a lesson. And you don't need a sense of rhythm. Of course, it is really enjoyable if you have a good ear for rhythm, but not a must. The important thing is that the body can move, and you can feel it with enjoyment. Everybody has a chance to experience that something in



〈近藤良平のモダン・タイムス〉より
Photo: HARU ©HARU

your body is moving and awakening yourself. I hope many people to experience such feeling. I feel happy when I see students in their 50s enjoy moving much more than I expected. I started "Dance Farm" workshops in 2013 as a collaborative program with the Tokyo Metropolitan Theatre. This is a project to cultivate ideas on dance through workshops with people who are generally involved in this project. I held "Ryohei Kondo's Modern Times" in January 2015 as a "harvested performance" to close the first chapter. Then, I continued drafting a long-term vision for the project. It would be wonderful if we could contribute to cultivating the field of dance, expand the field as large as possible and further develop the theatre culture.

近藤良平 Ryohei Kondo

ダンサー・振付家。東京生まれ、ヘルム、チリ、アルゼンチンに育つ。1996年、ダンスカンパニー〈コンドルズ〉旗揚げ。「からだであそぼ」「サラリーマンNEO」「てっぱん」(NHK、NHK-Eテレ)などをはじめ、多数の舞台、テレビ番組などでダンス・振付を担当。2004年第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞を受賞。1月9日(土)~10日(日)、東京芸術劇場シアターイーストで〈コンドルズ〉メンバー平原慎太郎とスズキ拓朗による「ダブルダブルダンス公演」。1月16日(土)、あうるすぽっとにて〈コンドルズ〉メンバー、古賀剛、鎌倉道彦、香取直登による「ジェットストリームソロダンス公演」、また2月6日(土)には新宿文化センター大ホールにてコンドルズ日本縦断大進撃ツアー2016「GIGANT」東京特別限定公演を開催。



1 東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre

都民のための音楽・演劇・歌劇・舞踊などの芸術文化振興と国際交流を図る文化施設として1990年開館。大中小4つのホールでは、コンサートや演劇等の自主企画や、優れた芸術団体との共催・提携公演も積極的に行われている。

住所：豊島区西池袋1-8-1 / Tel: 03-5391-2111

Opened in 1990 as a base to promote art and culture and global cultural exchange among the citizens by presenting programs in the fields of music, theatre, opera and dance.



3 ロサ会館 Rosa Kaikan

1968年オープン。戦後まもなく映画館として営業していた歴史を持ち、ロードショーのみならず自主企画による特集上映も頻繁に行われている映画館「シネマ・ロサ」のほか、ボウリングやビリヤード、ダーツ、ゲームなどが楽しめる総合アミューズメント施設。

住所：豊島区西池袋1-37-12

Opened in 1968, this amusement building owns two movie theaters, a bowling alley, one of the largest pool hall, the largest darts center in Japan, and an arcade.

2 雑司ヶ谷鬼子母神堂 Zoshigaya Kishimojin

1561年に発見された、安産と子どもの守護神・鬼子母神像が祀られており、ご利益を求めて多くの人を訪れる。長い歴史のなか多くの人に踏みめられてきた境内の土の硬さが、近藤さんのお気に入りとのこと。東京都指定有形文化財。

住所：豊島区雑司が谷3-15-20 / Tel: 03-3982-8347

The place where the statue of Kishimojin is enshrined. She is a goddess who protects the delivery and nurturing of children. The statue was found in 1561.



4 豊島区立熊谷守一美術館 Morikazu Kumagai Art Museum

簡素化した描線と色面で独自の境地を拓いた画家・熊谷守一(1880-1977)の旧宅跡地に、熊谷の次女・熊谷権氏が私設美術館として1985年開館、2007年に作品を寄贈し豊島区立となった。熊谷守一の油絵、墨絵、書などが常設されている。

住所：豊島区千早2-27-6 / Tel: 03-3957-3779

Opened in 1985 as a private art museum at the former residential site of the painter Morikazu Kumagai (1880-1977). The museum has been maintained by the city of Toshima since 2007.





エミール・ガレ〈脚付杯 ひなげし〉、年記1900年、北澤美術館蔵
Emile Gallé, *Petal-shaped Vase "Coquelicot"*, 1900
Kitazawa Museum of Art

ガレの庭

花々と声なきものたちの言葉

1月16日(土)～4月10日(日)

Emile Gallé—Nature & Symbol
Jan 16 Sat- Apr 10 Sun

19世紀末のヨーロッパを彩る装飾様式「アール・ヌーヴォー」の立役者の一人であるエミール・ガレ(1846-1904)は、花や昆虫などの描写を通して、陶芸やガラス、木工家具などを、哲学的な世界観を表す芸術作品へと昇華させました。その背景には、専属の庭師を雇い広大な庭で2,500から3,000種の植物を育て観察するといった、植物学への情熱がありました。本展では、ガレの生々しい指示が残るデザイン画(オルセー美術館所蔵)とともに、庭をのぞむ室内でガラス作品を展示します。

Emile Gallé (1846-1904) was a leading initiator of the Art Nouveau style at the end of 19th century in Europe. He elevated ceramics, glass and woodworking furniture to become art pieces that represented the philosophical world by adding depictions of flowers and insects to them. This was backed by his strong passion for botany. He hired gardeners exclusively for his extensive garden where he cultivated and observed 2,500-3,000 plant species. In this exhibition, design drawings (housed in the Musée d'Orsay) that contain fresh directions by Gallé will be on display along with his glass pieces that look over the museum garden.

入場料:一般 1,100(880)円、大学生・専門学校生 880(700)円、中・高校生・65歳以上550(440)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者1名は無料。

会場:東京都庭園美術館

休館:第2・第4水曜日

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京新聞

Admission: Adults: ¥1,100 / College and vocational students: ¥880 / Junior High and High school students, and seniors (65 and over) : ¥550

Closed: 2nd and 4th Wed



1.



2.

1. エミール・ガレ〈ひとよ葎花瓶〉 1900-1904年、北澤美術館蔵

Emile Gallé, *Vase with Mushroom "Coprinus"*, 1900-1904

2. デザイン画

「脚付杯 ひなげし」1900年頃
オルセー美術館蔵

Emile Gallé, Drawing, Design for the *Petal-shaped Vase "Coquelicot"*, c. 1900
Musée d'Orsay, don de M. et Mme Jean Bourgogne, 1986

©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

Mini Information

あーととあそぶにわ

ラーニング・プログラム「あーととあそぶにわ」は、家族で美術館を楽しむための準備運動。美術館の庭園で絵本を読んだり、絵を描いたりして「びじゅつかん」や「あーと」のお話をします。展覧会ごとに2、3回開催しています。日程はウェブサイトをご覧ください。





レオナルド・ダ・ヴィンチ《糸巻きの聖母》1501年頃
バクルー・リビング・ヘリテージ・トラスト
Leonardo Da Vinci
The Madonna of the Yarnwinder
c.1501
©The Buccleuch Living Heritage Trust

特別展 レオナルド・ダ・ヴィンチ —天才の挑戦

1月16日(土)～4月10日(日)

LEONARDO DA VINCI — BEYOND THE VISIBLE

Jan 16 Sat- Apr 10 Sun

レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519)は絵画・彫刻だけでなく、「万能人」として舞台装置の設計や音楽家・軍事技師・建築家として活躍したことで有名です。レオナルドはその研究や思想を膨大な数の素描や手稿として残し、絵画に表そうとしました。本展では、日本初公開の円熟期の油彩画《糸巻きの聖母》と直筆ノート『鳥の飛翔に関する手稿』を中心に、同じく日本初公開の真筆素描7点や、レオナルドの生涯を表した版画など約70点、素描から忠実に再現した関連模型を通じ、天才の挑戦を体系的に展覧します。

Leonardo Da Vinci (1452-1519) is well known as a “universalist” who was not only a painter and sculptor but also active as a stage designer, musician, military engineer and architect. He left behind his studies and thoughts in a great number of codices and tried to express them as paintings. In this exhibition, “Madonna of the Yarnwinder,” an oil painting drawn during his ripening stage, and his original “Codice sul volo degli uccelli” (Codex on the Flight of Birds) will both be shown in Japan for the first time. They will join seven original drawings also making their Japan debut, along with about 70 prints depicting the life of Leonardo, offering the audience the chance to systematically enjoy the challenges of this genius through models faithfully reproduced from the originals.

入場料:一般1,450(1,160)円、大学生・専門学校生1,160(930)円、小・中・高校生65歳以上730(580)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児童は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都江戸東京博物館 1階特別展示室

休館:月曜日(ただし、1月18日、3月21日・28日は開館)、3月22日(火)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション

Admission: Adults: ¥1,450 / College and vocational students: ¥1,160 / Elementary, Junior High and High school students, and seniors (65 and over): ¥730

Closed: Mon (Open on Jan 18, Mar 21, 28), Mar 22 Tue



レオナルド・ダ・ヴィンチ『鳥の飛翔に関する手稿』第10紙裏、1505年

トリノ王立図書館

Leonardo Da Vinci

Codex on the Flight of Birds

No. 10 reverse side

1505

Turin, Biblioteca Reale

Mini
Information

企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筒」

13代将軍の正室天璋院(篤姫)愛用の品々から、天璋院の生涯や大奥の壮麗な生活、用筆筒を引き継いだ二人の徳川宗家夫人について、1月2日(土)～2月21日(日)、常設展示室内5F企画展示室にて紹介します。



《梨子地宮牡丹蝶尾長鳥文時絵用筆筒》

公益財団法人 徳川記念財団蔵



自邸でくつろぐ前川夫妻 前川建築設計事務所蔵
Mr. and Mrs. Mayekawa relaxing in their house
Courtesy of Mayekawa Associates Architects & Engineers

前川國男邸が東京都指定有形文化財に

House of Kunio Mayekawa, designated a Tangible Cultural Property by Tokyo Metropolitan Government

前川國男(1905-86)は、日本の近代建築の発展に大きく貢献した建築家です。東京帝国大学を卒業後、ル・コルビュジェのアトリエで学びました。

前川國男の自邸は1942(昭和17)年、品川区上大崎に建てられました。吹き抜けの居間を中心に、書斎・寝室を配置したシンプルな間取りです。居間の南側から太陽光が降り注ぎ、朝や夕方には、白い壁面に格子状の影が映ります。季節や時間によって、さまざまな空間を感じることができます。平成27年3月、東京都指定有形文化財(建造物)になりました。

Kunio Mayekawa (1905-86) was an architect who made significant contributions to the development of modern Japanese architecture. He studied under Le Corbusier's studio after graduating from Tokyo Imperial University.

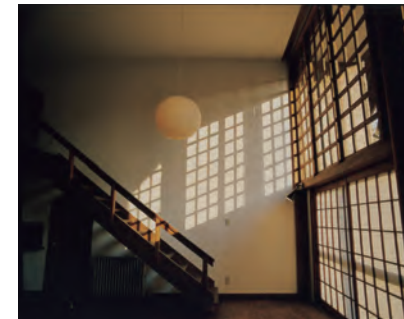
Mayekawa's own residence was built in Kamiosaki in Tokyo's Shinagawa-ku in 1942. The layout of the house is simple, with a study room and a bedroom, centering around the living room whose ceiling is double height. Natural sunlight from the south falls into the living room. Because the window features a grid design, it leaves shadows on a white wall in the morning and evening. The house features varying atmosphere along with seasons and time. In March 2015, it was designated a tangible cultural property by the Tokyo Metropolitan Government.

入場料:一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200(160)円。小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

会場:江戸東京たてもの園
休園:月曜日(ただし、祝休日の場合は翌平日)

主催:東京都、江戸東京たてもの園

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, and junior high school students living in Tokyo: Free
Closed: Mon (When Mon falls on national holiday closed on the following weekday)



江戸東京たてもの園に復元された前川國男邸居間
Living room in the House of Kunio Mayekawa reproduced in the Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

Mini Information

第49回日本サインデザイン賞 特別賞を受賞!

このたび、公益社団法人日本サインデザイン協会より、当園の取り組みに対し、「第49回日本サインデザイン賞 特別賞」及び「公益財団法人日本デザイン振興会会長賞」を受賞しました。歴史的建造物の移築復元と、園の建造物と環境を活かした普及活動等が評価されました。



昔くらし体験(石臼)
建造物内で実施

東京都現代美術館は、2016年5月30日(月)から、大規模改修工事に伴い休館いたします。
この度の改修工事で、経年劣化に伴う設備機器の更新等を行い、公共施設としてお客様により安心で快適な美術館へと生まれ変わります。
長期にわたる休館となる見込みですが、皆様の格別のご理解とご高配のほどお願い申し上げます。



Bob Pauley, Woody and Buzz Toy Story, 1995 Reproduction of marker and pencil on paper ©Disney/Pixar

スタジオ設立30周年記念 ピクサー展

3月5日(土)～5月29日(日)

PIXAR: 30 Years of Animation

Mar 5 Sat – May 29 Sun

『トイ・ストーリー』や『ファインディング・ニモ』、そして最新作『アークと少年』など、数々の人気作品を世界に送り出すピクサー・アニメーション・スタジオ。ピクサー作品が愛される理由はCG技術の高さだけではなく、独創的なストーリーや魅力的なキャラクターの存在があるからです。それらの魅力は、ピクサーに在籍するアーティストたちの手によるドローイングやパステル画、マケット(キャラクター模型)などに支えられています。本展は、そのような多種多様なアートワークの数々を紹介します。

Pixar Animation Studios have globally released a number of blockbuster animation films such as “Toy Story,” “Finding Nimo,” and their latest, “The Good Dinosaur.” The pieces created by the studio have been loved not just for their high level of CG technology, but also due to the charm of their animation characters as well as their unique and creative stories. This appeal is underpinned by Pixar’s artists who create drawings, pastel works and maquettes (models of the animation characters). This exhibition will introduce a wide variety of the art works.

入場料:一般1,500(1,200)円、大学・専門学校生・高校生1,000(800)円、小・中学生500(400)円。小学生未満無料(保護者の同伴が必要です)。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

※本展チケットで「MOTコレクション」(常設展)もご覧いただけます

会場:東京都現代美術館 企画展示室1階、3階

休館:月曜日(ただし、3月21日、5月2日、23日は開館)、3月22日(火)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、読売新聞社、TBS

Admission: Adults: ¥1,500 / College students and High school students: ¥1,000 / Elementary and Junior high school students: ¥500

Closed: Mon (Open on Mar 21, May 2, 23), Mar 22 Tue

MOTアニュアル2016

3月5日(土)～5月29日(日)

MOT Annual 2016

Mar 5 Sat – May 29 Sun

日本の若手作家による新しい現代美術の動向を紹介する「MOTアニュアル」。第14回目となる本展では、アーティストによるアーティストのための芸術支援システム「ARTISTS' GUILD (アーティストズ・ギルド)」を取り上げ、日本における芸術生産の生活環境を変えるべく取り組む若手作家たちの実践を紹介し、その創造力でもって社会で循環するシステムを構築していこうとする動きを、現代のわれわれを取り巻く状況に対する一つのアクションとしてとらえ、社会における芸術の役割をアーティストとともに検証します。

The “MOT Annual” is an exhibition that introduces the latest trends in contemporary art created by young Japanese artists. The upcoming, 14th exhibition in this series will feature the ARTIST'S GUILD, introducing the activities of these young artists who struggle to change the environment of artists in Japan. It is a movement in which young artists come together to use their creativity to construct a system that circulates within society; it is an action that was born in reaction to the conditions surrounding us in the modern day and aims to reevaluate the role of art in society.

入場料:一般1,000(800)円、大学・専門学校生・65歳以上 800(640)円、中高生500(400)円。小学生以下無料(保護者の同伴が必要です)。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

※本展チケットで「MOTコレクション」(常設展)もご覧いただけます

会場:東京都現代美術館 企画展示室地下2階

休館:月曜日(ただし、3月21日、5月2日、23日は開館)、3月22日(火)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

Admission: Adults: ¥1,000 / College students and seniors (65 and over): ¥800 / Junior high and high school students: ¥500

Closed: Mon (Open on Mar 21, May 2, 23), Mar 22 Tue



東京都現代美術館開館20周年記念 トークセッション

「ARTISTS' GUILD:生活者としてのアーティストたち」風景、2015年[参考図版]

The view of the MOT 20th anniversary talk session “ARTISTS’ GUILD”, 2015

[reference image]

Photo: Mika Kitamura

Mini Information

MOT コレクション

今期(3月5日(土)～5月29日(日))は、新たに収蔵された作品を中心に紹介します。当館は、現代美術館として、同時代に生まれる作品に着目しつつコレクションを形成してきました。そうした作品は、収集・保存・公開といった収蔵品にまつわるこれまでの活動の質に変化をもたらします。現在進行形で変わりゆくコレクションについて考える機会となれば幸いです。



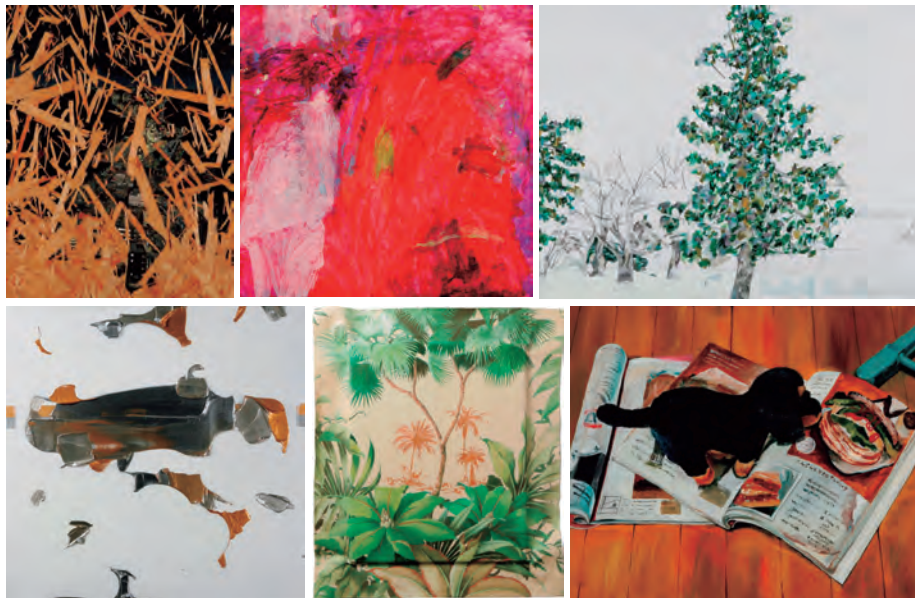
豊嶋康子
《赤青色鉛筆》
1996-1998年

Photo: 大村雄一郎

トキョーワンダーサイト

tokyo wonder site
Institute of Contemporary Art and
International Cultural Exchange, Tokyo

Tokyo Wonder Site

「ワンダーシード2015」入選作品
Works from WONDER SEEDS 2015

ワンダーシード2016

2月13日(土)～3月20日(日)

WONDER SEEDS 2016

Feb 13 Sat – Mar 20 Sun

35歳以下の若手アーティストを対象に公募を行い、現代アートに造詣の深い審査員によって選出された作品を展覧会場にて販売する「ワンダーシード」。“BUY=SUPPORT”（作品購入が若手アーティストの支援となる）をコンセプトに、若手アーティストの作品と多くの美術愛好家が出合える場をつくることを目的として2003年に始まり、今年で14年目を迎えます。応募対象はS10号以下の小作品。家でも気軽に飾ることができるサイズなので、アート作品を購入するのは初めてという方にもお楽しみいただけます。

WONDER SEEDS is an open call exhibition aimed at selecting and selling potential works of artists aged 35 and under. This program was designed in 2003 to support young artists following the concept of “BUY = SUPPORT”; giving an opportunity to connect young artists and art lovers and collectors. Targeted the small size of work (maximum size is S10 [53 cm x 53 cm]), this offers the casual opportunity to enjoy the experience of art ownership for art fans as well as those who purchase works at first time.

入場料: 無料
会場: トーキョーワンダーサイト渋谷
休館: 月曜日
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト
Admission: Free
Venue: Tokyo Wonder Site Shibuya
Closed: Mon

第9回展覧会企画公募

2月27日(土)～3月27日(日)

The 9th Emerging Artists Support Program

Feb 27 Sat – Mar 27 Sun

若手企画者の支援・育成を目的とする公募プログラムからの選出企画展。今回は、過去最多となる国内外 66 組の中から選ばれた門馬美喜、エ☆ミリー吉元、高川和也の3企画を紹介します。独自の視点で、社会や個人を見つめ、その在り方を提起します。会期中には企画者によるトークやイベントも開催予定です。

This open-call program is to support and train young individuals aspiring to curate art exhibitions. In its 9th round, program proposals from Miki Momma, E ☆ mily Yoshimoto and Kazuya Takagawa were selected from 66 applicants in Japan and abroad, the largest number on record. Each of the three has their unique perspective on society and individuals in their proposals. Talks and events by the three will also be featured during the exhibition period.

TWS-NEXT @tobikan
「クレアボヤンス」

2月19日(金)～3月6日(日)

TWS-NEXT @tobikan “Clairvoyance”

Feb 19 Fri – Mar 6 Sun

クレアボヤンス【clairvoyance】—透視、千里眼、鋭い洞察カー。東京都美術館にて鎌田友介、three、平川ヒロ、増本泰斗、三原聡一郎が、私たちの身の回りに存在しながら目には見えない事象の可視化を試みます。鋭敏な感覚（クレアボヤンス）を持ったアーティストによって作られた作品は、世界を認識するための新たな視点を私たちに提示してくれるのではないのでしょうか。2月20日(土)には出展作家によるアーティスト・トークを開催予定です。

Clairvoyance: Yusuke Kamata, three, Hiro Hirakawa, Yasuto Masumoto and Soichiro Mihara will try to visualize the invisible things around us. The artists who have keen senses (clairvoyance) creates works that would give us a new perspective to recognize a world. A talk among artists is scheduled on Feb 20 (Sat).

Mini
Information

オープン・スタジオ 2015 - 2016

トーキョーワンダーサイトレジデンスにて、「オープン・スタジオ2015-2016」を3月12日(土)に開催。滞在制作やリサーチを行う8か国8名のクリエイターの活動を紹介します。展示形式の発表のほか、トークイベントも実施します。
※日英逐次通訳あり

入場料: 無料
会場: トーキョーワンダーサイト本郷
休館: 月曜日(ただし3月21日は開館)、3月22日(火)
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト
Admission: Free
Venue: Tokyo Wonder Site Hongo
Closed: Mon (When Mon is a national holiday closed on the following weekday)

高川和也(ASK THE SELF)2015年
シングルチャンネル・ビデオ・インスタレーション(HD)+映像ドキュメント
Kazuya Takagawa, ASK THE SELF, 2015, single channel HD video installation + video document

入場料: 無料
会場: 東京都美術館ギャラリーB
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト
Admission: Free
Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum Gallery B

三原聡一郎《空白のプロジェクト#3 コスモス》2015年、苔、卵殻、土、電極、モーター
Soichiro Mihara, blank project#3 cosmos, 2015, moss, eggshell, soil, electrode, motor

2015年11月の「オープン・スタジオ」の様子



《聖母子(書物の聖母)》1482-83年頃
テンペラ、板
ボルディ・ベツツォーリ美術館
Virgin and Child (Madonna of the Book)
c. 1482-83 Tempera on panel, Museo Poldi Pezzoli
© Milano, Museo Poldi Pezzoli, Foto Malcangi

ボッティチェリ展

1月16日(土)～4月3日(日)

Botticelli e il suo tempo
Jan 16 Sat – Apr 3 Sun

サンドロ・ボッティチェリ(1444/45-1510)は、優雅で美しい聖母や神話の女神を描いた画家として知られます。その作品は多くが板に描かれ、きわめて繊細であるため、まとまった数の来日はこれまでに叶いませんでした。日伊国交樹立150周年記念として実現する本展は、フィレンツェをはじめ世界各地から20点以上ものボッティチェリ作品を集め、その画業を一望する大回顧展です。

Sandro Botticelli (1444/45-1510) is known for his paintings of elegantly beautiful Madonnas and goddesses of myth. Because many are painted on wood panels and are in extremely fragile condition, an exhibition of a substantial number of Botticelli paintings has never been realized in Japan. This time, on the occasion of the 150th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Japan and Italy, we are presenting a large-scale traveling exhibition that surveys Botticelli's artistic legacy through more than 20 works gathered from Florence and other regions of the world.

入場料:一般1,600(1,300)円、学生1,300(1,100)円、高校生800(600)円、65歳以上1,000(800)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 企画展示室
休室:月曜日(ただし、3月21日、28日は開室)、3月22日(火)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、朝日新聞社、TBS
Admission: Adults: ¥1,600 / College students: ¥1,300 / High school students: ¥800 / Seniors (65 and over): ¥1,000
Closed: Mon (open on Mar 21, Mar 28), Mar 22 Thu

Mini Information

感じる漢字?!

今年の東京都美術館コレクション展は、「漢字の書」を取り上げます。「感じる漢字—西川寧・青山杉雨・手島右卿を中心に」(1月4日(月)～1月23日(土))では、美術としての書を探求し、現代の書のあり方を追究した、漢字書の現代的展開の軌跡をご覧ください。



青山杉雨《車馬器々》
東京都美術館蔵

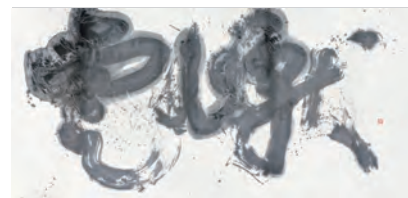
TOKYO 書 2016 公募団体の今

1月4日(月)～1月16日(土)

TOKYO "SHO" 2016 : Japanese Calligraphy Today
Jan 4 Mon – Jan 16 Sat

東京を中心に、関東に拠点を置く書の公募団体18団体による合同展です。各団体が推薦する、次代を担う書作家38名が出品します。新作の書下ろしを中心に、漢字、かな、近代詩文書、大字書、篆刻、刻字、前衛書といった、現代の書の様々な表現を一堂に紹介します。多様に展開する「TOKYOの書の今」の魅力をお伝えします。

A cooperative exhibition by 18 public calligraphy groups based in the Tokyo-Kanto area. Featured are 38 artists chosen by each group as representing the "rising generation of calligraphers." Contemporary calligraphy of many genres—Kanji, Kana, Modern Poetic Calligraphy, Large Character Calligraphy, Seal Engraving, Carved Characters, and Avant-garde Calligraphy—will be presented in one venue, with a focus on recent works, to demonstrate the power and beauty of "Tokyo Calligraphy Today."



[独立書人団]松尾治
《雲嶺》2015年
Matsuo Osamu (Dokuritsushojindan),
Unken (A mountain rising above the clouds), 2015

都美セレクション 新鋭美術家 2016

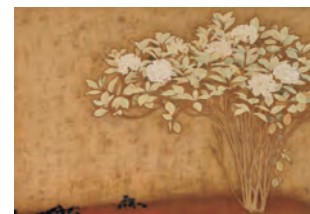
2月19日(金)～3月15日(火)

New-wave Artists 2016—From the Public Entry Exhibition
Feb 19 Fri – Mar 15 Tue

「公募団体ベストセレクション 美術 2015」展の出品作家の中から、これからの活躍が期待される新鋭作家数名を個展形式で紹介する展覧会です。それぞれの作家の個性あふれる作品をお楽しみください。

出品作家:武田司、戸田麻子、西村大喜、花澤洋太、森美樹

An exhibition introducing up-and-coming artists of great promise, selected from among artists appearing in "Best Selection 2015" and exhibited in solo exhibition format. Visitors can look forward to artworks infused with powerful individuality.
Artist: Tsukasa Takeda, Asako Toda, Daiki Nishimura, Yota Hanazawa, Miki Mori



森美樹《姿》2013年
Miki Mori, Appearance of flowers, 2013

入場料:一般500(400)円、65歳以上300円。()内は、20名以上の団体料金。学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 公募展示室 ロビー階 第1・第2
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Adults: ¥500 / Seniors (65 and over): ¥300

入場料:一般500(300)円、65歳以上300円。()内は20名以上の団体料金。学生以下無料。同時開催中の「ボッティチェリ展」のチケット(半券可)提示にて無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 ギャラリーC
休室:3月7日(月)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Adults: ¥500 / Seniors (65 and over): ¥300
Closed: Mar 7 Mon

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



舞台芸術創造事業

ON-MYAKU 2016 - see/do/be tone -

1月30日(土)・31日(日) 小ホール

ON-MYAKU 2016 - see/do/be tone -
Jan 30 Sat, 31 Sun Recital Hall

中川賢一により「音が鳴り」、白井剛が「音になる」、そして堀井哲史の映像により「音が見える」。「音の視覚化」を追求するこれまでにない新しい試みの公演!

Sounds will be transmitted by Kenichi Nakagawa, and then Tsuyoshi Shirakawa will "become" the sound, and the sounds will become "visible" by visual images created by Satoshi Horii. This is the newest attempt to pursue "visualizing sound."

白井剛
Tsuyoshi Shirai中川賢一
Kenichi Nakagawa
Photo: Shuhei NEZU堀井哲史
Satoshi Horii
Photo: Muryo Honma

開演: 19:00 (30日)、15:00 (31日)
構成・振付・ダンス: 白井剛
音楽構成・ピアノ: 中川賢一
映像演出: 堀井哲史 (ライゾマティクス)
曲目: S. ライヒ / 「ピアノフェイズ」より、L. フェラーリ / 「小品コレクション、あるいは36の続き、ピアノとレコーダーのための」より、ヤコブ TV / 「The Body of Your Dreams」、I. ケセナキス / 「ヘルマ」 ほか
料金: S 席 4,500 円、A 席 3,500 円
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
※ 30 日終演後、アーティストによるアフタートークを行います
※ 未就学児の入場はご遠慮ください
Dance: Tsuyoshi Shirai
Piano: Kenichi Nakagawa
Media Art: Satoshi Horii (Rhizomatiks)
Admission: S seats: ¥4,500, A seats: ¥3,500

Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第5回

荘村清志 ゲスト: 小林沙羅

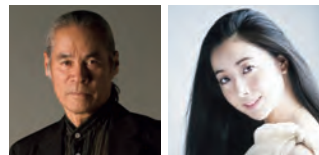
20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた

2月20日(土) 小ホール

The Platinum Series No.5 Kiyoshi Shomura
Feb 20 Sat Recital Hall

武満徹と親交が深く、さまざまな曲を献呈され、初演してきた荘村清志が「この日しかない」と満を持して贈るスペシャル・プログラム。

Guitarist Kiyoshi Shomura has performed various numbers composed by Toru Takemitsu. Shomura received those scores through his close relationship with the composer. He performs the pieces once Takemitsu completes the scores. This is special program is Shomura's tribute to the composer.

荘村清志
Kiyoshi Shomura
Photo: 得能通弘小林沙羅
Sara Kobayashi
Photo: Nippon Columbia

開演: 15:00
出演: 荘村清志 (ギター)、小林沙羅 (ゲスト: ソプラノ)
曲目: 武満徹 / フオリオス、すべては薄明のなかで、エキノクス、森のなかで、ソングスより「小さな空」[翼] ほか
料金: S 席 5,000 円、A 席 4,000 円、B 席 2,500 円 (B 席売切)
主催: 東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
※ 未就学児の入場はご遠慮ください
Performer: Kiyoshi Shomura (Guitar), Sara Kobayashi (Soprano)
Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,500 (B seats are sold out)

モーニングコンサート Vol.91、92、93

1月14日(木)、2月10日(水)、3月3日(木) 小ホール

Morning Concert Vol.91, 92, 93

Jan 14 Thu, Feb 10 Wed, Mar 3 Thu Recital Hall

500 円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の1時間コンサート。若きアーティストの演奏とお話をお楽しみください。

For 500 yen, enjoy a one-hour morning concert by winners of the Tokyo Music Competition. Please enjoy performance and commentary from those young artists.

岡昭宏
Akihiro Oka玉木優
Yu Tamaki今田篤
Atsushi Imada

1月14日

出演: 岡昭宏 (バリトン) * 第12回声楽部門第1位及び聴衆賞、谷池重袖子 (ピアノ)
曲目: ヴェルディ / 歌劇「ドン・カルロ」より「終わりの日は来た」、ヴェルディ / 歌劇「オテロ」より「イアーゴの信箋」 ほか

2月10日

出演: 玉木優 (トロンボーン) * 第8回金管部門第2位、高良仁美 (ピアノ)
曲目: グレンダール / トロンボーン協奏曲、ガーシュウィン / 歌劇「ボーギーとベス」より「サマータイム」 ほか

3月3日

出演: 今田篤 (ピアノ) * 第11回ピアノ部門第2位
曲目: ショパン: 夜想曲第8番、ラフマニノフ: 楽興の時 ほか
開演: 11:00
料金: 自由 500 円

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
※ 未就学児の入場はご遠慮ください

Jan 14

Performer: Akihiro Oka (Baritone), Etsuko Taniike (Piano)
Feb 10

Performer: Yu Tamaki (Trombone), Hitomi Takara (Piano)
Mar 3

Performer: Atsushi Imada (Piano)

Admission: ¥500

Mini Information

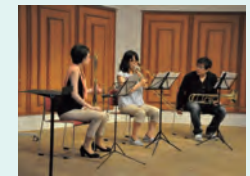
Music Program TOKYO

ミュージック・エデュケーション・プログラム

玉木優トロンボーンワークショップ

東京音楽コンクールほか、国内外の数々のコンクールに入賞後、ミシシビ交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラを経て、現在は南デンマークフィルハーモニー管弦楽団副首席奏者を務める玉木優が、プロの奏者を目指す学生 (高校生以上) やスキルアップを図るプロ奏者に向けたワークショップを開催します。グループレッスンや在京オーケストラのメンバーも交えたオープンディスカッションなども行います。

2月11日(木・祝)と12日(金)は東京芸術劇場シンフォニースペースで、13日(土)は東京文化会館小ホールで開催します。時間は各日10:00~20:00で、聴講料は1,000円(1日券)、2,500円(3日通し券)です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



ワークショップの様子

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

 東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

東京芸術劇場コンサートオペラvol.3

サン＝サーンス／歌劇『サムソンとデリラ』

フランス語全3幕 演奏会形式

2月20日(土) コンサートホール

Saint-Saëns: "Samson and Dalila" Version Paris in 3 acts

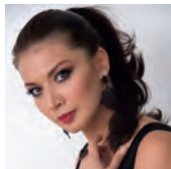
Feb 20 Sat Concert Hall

強力な男声ソリストが必要なことなどで日本での上演機会が限られてきた本作品の全曲公演が、いよいよ東京で実現します。

デリラ役には世界の名だたるオペラハウスで快進撃を続けるニコロッチが満を持して来日、サムソン役には「オーストラリアのパヴァロッチ」の異名をとるスピナが再来日。日本からはベテランの妻屋秀和をはじめ、甲斐栄次郎、ジョン・ハオなど世界を舞台に活躍する「低音」歌手が参加。圧倒的な音圧と壮大な歌唱で贈る一期一会のステージ！

This long-awaited program will be realized in Tokyo with a full-scale performance. "Dalila" will be performed by Milijana Nicolich whose active international career encompasses major operas throughout the world. "Samson" will be performed by Rosario La Spina, an Australian-born international tenor who is often called the "Luchiano Pavarotti of Australia." From Japan, internationally active singers including Hidekazu Tsumaya (bass), Eijiro Kai (baritone) and Hao Zhong (bass) will take part. This will be an irresistible program with powerful sound and masterful singing skills.


 佐藤正浩
Masahiro Sato

 ロザリオ・ラ・スピナ
Rosario La Spina

 ミリヤナ・ニコリッチ
Milijana Nicolich

開演：15:00

出演：佐藤正浩（指揮）、ロザリオ・ラ・スピナ（テノール）、ミリヤナ・ニコリッチ（メゾソプラノ）、ザ・オペラ・バンド（管弦楽）ほか

料金：全席指定 S席 7,000円、A席 5,500円、B席 4,000円、C席 3,000円、D席 2,000円

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※出演者等は、都合により変更となることがございます

※未就学児の入場はご遠慮ください

※座席により字幕が見づらい場合が一部ございます

Performer: Masahiro Sato (Conductor), Rosario La Spina (Tenor), Milijana Nicolich (Mezzosoprano), The Opera Band (Orchestra), other.

Admission: S seats: ¥7,000, A seats: ¥5,500, B seats: ¥4,000, C seats: ¥3,000, D seats: ¥2,000

NODA・MAP 第20回公演 「逆鱗」

1月29日(金)～3月13日(日) プレイハウス

NODA・MAP 20th

GEKIRIN

Jan 29 Fri - Mar 13 Sun Playhouse

「NODA・MAP」第20回作品となる2年半ぶりの新作は、人魚と人間の出会いを描く物語。松たか子、瑛太、井上真央、阿部サダヲら、豪華にして混沌とした最強のキャストが集結します。

NODA MAP's 20th production will be a new writing presenting since two and half years~ with a story of an encounter between a mermaid and a human. Takako Matsu, Eita, Mao Inoue and Sadawo Abe, celebrated casts are assembled.



作・演出：野田秀樹

出演：松たか子、瑛太、井上真央、阿部サダヲ、池田成志、満島真之介、銀粉蝶、野田秀樹
料金：全席指定 S席 9,800円、A席 7,800円、サイドシート 5,500円* ほか

※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみサイドシート3,000円にてご購入いただけます（入場時要証明書）

主催：NODA・MAP

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※未就学児の入場はご遠慮ください

Text・Direction: Hideki Noda

Performer: Takako Matsu, Eita, Mao Inoue, Sadawo Abe, Narushi Ikeda, Shinnosuke Mitsushima, Guin-poon-Chow, Hideki Noda

Admission: S seats: ¥9,800, A seats: ¥7,800, Side seats: ¥5,500, etc.

東京芸術劇場Presents

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

2月6日(土) コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Presents Classical Players, Tokyo Concert

Feb 6 Sat Concert Hall

日本の管弦楽演奏史のエポックメイキング！日本が世界に誇る国際的な音楽家、有田正広と歴史的資料に基づいた解釈と演奏を行う「クラシカル・プレイヤーズ東京」が、日本のクラシック音楽界に新たな歴史を刻みます。日本を代表する実力派ピアニスト上原彩子がフォルテピアノに初挑戦！

An epoch-making event in the history of Japanese orchestral music! Classical Players Tokyo led by Masahiro Arita, an internationally active musician, perform their interpretations based on a historical study of classical music. They will hold a special place in the annals of Japanese classical music with this performance.


 有田正広
Masahiro Arita

 上原彩子
Ayako Uehara
Photo: 三浦興一

 クラシカル・プレイヤーズ東京
Classical Players Tokyo
Photo: Hikaru.☆

開演：15:00

出演：有田正広（指揮）、上原彩子（フォルテピアノ）、クラシカル・プレイヤーズ東京（ソロコンサートマスター：豊嶋泰嗣）

曲目：メンデルスゾーン／「フィンガルの洞窟」序曲、モーツァルト／ピアノ協奏曲第17番、交響曲第3番「スコットランド」

料金：全席指定 S席 4,000円、A席 3,000円、B席 2,000円

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※演奏曲目は、都合により変更となることがございます

※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Masahiro Arita (Conductor), Ayako Uehara (Fortepiano), Classical Players Tokyo

Admission: S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, B seats: ¥2,000

 Mini
Information

写真展 + イベント

「RIO DE JANEIRO “Various eyes”」

世界文化遺産都市「リオデジャネイロ」にフォーカスした企画展を3月に実施。文化と自然の共存が生み出す多彩なリオデジャネイロの魅力を伝えると同時に、都市の在り方を再考します。


 リオデジャネイロ
1960年
© René Burri / Magnum
Photos

アーツカウンシル東京

Arts Council Tokyo



アーツカウンシル東京は、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

Arts Council Tokyo implements a variety of programs to promote the creation and dissemination of arts and culture and increase Tokyo's appeal as a global city of arts and culture.

「TURNフェス」

TURN Fes

「TURN (ターン)」は異なる背景を持った人々が関わり合い、さまざまな「個」の出会いと表現を生み出すアートプログラムです。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの先導的役割を果たすリーディング・プロジェクトのひとつでもあります。アーティストの日比野克彦を監修に迎え、アーティストと福祉施設等との交流を通して生まれた表現を発表する参加型展覧会やカンファレンスを開催します。

“TURN” is an art program that fosters relations among various individuals of different backgrounds to create expressions. The program is also one of the Leading Projects held ahead of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games. Katsuhiko Hibino, an artist, supervises the program and holds conferences and participatory exhibitions through communication with artists and welfare facilities.



角銅真実<十日町合唱団>
撮影:富田了平
Manami Kakudo Tokamachi Choir
Photo: Ryohei Tomita

日時: 3月4日(金)～6日(日) 時間未定
会場: 東京都美術館
料金: 無料
参加アーティスト: EAT&ART TARO、五十嵐靖晃、池田晶紀、角銅真実、北澤潤、ジェームズ・ジャック、富塚絵美、中崎透、柳雄斗、山城大督 ほか
主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協力: 東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
※詳細は(www.artscouncil-tokyo.jp/ja/events/8427/)をご覧ください
Dates: Mar 4 Fri - 6 Sun
Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum
Admission: Free
Artists: EAT&ART TARO, Yasuaki Igarashi, Masanori Ikeda, Manami Kakudo, Jun Kitazawa, James Jack, Emi Tomizuka, Tohru Nakazaki, Yuto Yanagi, Daisuke Yamashiro, other.

キッズ伝統芸能体験 発表会

能楽:3月21日(月・祝) 宝生能楽堂
長唄・三曲・日本舞踊:3月30日(水) 浅草公会堂
Traditional Performing Arts for Kids "Public Performance"
Noh: Mar 21 Mon, Holiday Hosho Nohgakudo
Nagauta, Sankyoku, Nihon Buyo: Mar 30 Wed Asakusa Public Hall

およそ300人の子供たちが、数か月かけて能楽(謡・仕舞、狂言)、長唄(三味線、囃子)、三曲(箏曲、尺八)、日本舞踊の稽古を重ねています。指導にあたるのは伝統芸能の一流の芸術家です。どちらも本気で取り組んだその成果を、本格的な舞台上で発表します。

About 300 children have been practicing for several months for Nohgaku (Utai, Shimai and Kyogen), Nagauta (Shamisen and Hayashi), Sankyoku (Shakuhachi, Koto), and Nihonbuyo. Leading artists of traditional performing arts are the instructors. Both sides (the instructors and children) have been keen to put on a full performance.



1.

2.

1.能楽(狂言)の発表の様子
A scene from Noh (Kyogen) performance
2.三曲(箏曲)の発表の様子
A scene from Sankyoku (Koto) performance

入場料: 無料(事前申込制)
主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
※詳しくは公式サイト(www.geidankyo.or.jp/kids-dento/)をご覧ください
Admission: Free (Pre registration)

リライトプロジェクト 「Relight Days」

3月11日(金)～13日(日)

Relight Project "Relight Days"
Mar 11 Fri - 13 Sun

パブリックアート作品《カウンター・ヴォイド》は東日本大震災の発生から2日後の3月13日、震災による犠牲者への鎮魂の意を込め、作者である宮島達男の手で消灯されました。その後、3.11後の社会にふさわしいかたちで作品を再点灯させる「リライトプロジェクト(Relight Project)」が発足し、消灯から5年後の2016年3月に再点灯されます。シンポジウムやワークショップ、「Relight Committee」の活動から生まれたプログラムなどを通して、3.11以降の社会について考えます。

Counter Void is public art created by Tatsuo Miyajima. He turned off the lights on the work on March 13, 2011, two days after the Great East Japan Earthquake, to convey his condolences to all the victims of the disaster. Later, the "Relight Project" was established to relight the artwork with the aim of having the work reborn in society after 3.11. It will be relit in March 2016. The project considers society after 3.11 by holding symposia and workshops, and various programs held through activities of a "Relight Committee."

会場: 六本木ヒルズけやき坂<カウンター・ヴォイド>ほか
料金: 無料
主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人インビジュアル
※詳細は公式サイト(relight-project.org)をご覧ください
Venue: Roppongi Hills Keyakizaka, Counter Void, other.
Admission: Free



宮島達男<Counter Void>2003年
Tatsuo Miyajima, Counter Void, 2003

Mini Information

アンサンブルズ東京「報告会」

3月9日(水) P3 art and environmentにて、アンサンブルズ東京「報告会」を行います。音楽家・大友良英のディレクションのもと、2015年8月30日に東京駅前の行幸通りで行われたイベントの様相を、当日の記録映像にトークやライブを交えながら振り返ります。(参加費無料)
詳細は公式サイト(www.ensembles.tokyo)をご覧ください。



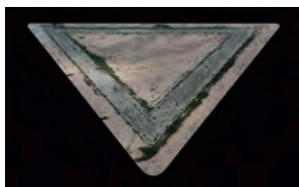
撮影:新井潔
Photo: Kiyoshi Arai



1.



2.



3.

1.中谷美二子〈砂漠の霧微気象園〉
(オーストラリア国立美術館・彫刻庭園、キャンベラ)1983年～[参考図版]
Fujiko NAKAYA, *Foggy Wake in a Desert*,
Sculpture Garden, National Gallery of
Australia, Canberra
Courtesy National Gallery of Australia,
1983-[reference image]

2.平井優子〈猿嬌-The face of strangers〉
2014年[参考図版]
Yuko HIRAI, *Sarumuko - The face of
strangers*, 2014 [reference image]
Photo: Akiko Nogami

3.ジャナーン・アル＝アーニ
〈グラウンドワークスⅢ〉2013年
Jananne AL-ANI, *Groundworks III*, 2013

第8回恵比寿映像祭 動いている庭

2月11日(木・祝)～20日(土)

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2016 Garden in Movement
Feb 11 Thu, Holiday - 20 Sat

年に一度のアートと映像の国際フェスティバル「恵比寿映像祭」。第8回は「動いている庭」をテーマに、現代社会を日々変容する庭とどう見えつめ直します。恵比寿の街を舞台に、展示・上映・オフサイト展示・イベント・シンポジウム・ライブ・地域連携・ガイドツアーなど多彩なプログラムを10日間にわたって開催します。詳細はウェブサイト (<http://www.yebizo.com>) をご覧ください。

The annual International Festival for Arts and Alternative Visions will hold its eighth edition for a 10-day period. With the theme of "Garden in Movement," this event will offer the audience an opportunity to reexamine ever changing society. Various programs including exhibitions, film screenings, events, symposia and live performances will be held in the Ebisu district. Please check the website (<http://www.yebizo.com>) for updated information.

入場料:入場無料(上映、ライブ、シンポジウムなど、定員制のものは一部有料)
時間:10:00～20:00 最終日は18:00まで
会場:ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンシネマ、日仏会館、STUDIO038、恵比寿ガーデンプレイスセンター
広場ほか
主催:東京都、東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社

Admission: Free (Admission will be charged for some events with limited seating, including screenings, live performances, and symposia.)



東京都写真美術館 外観

改修工事ともなう休館について

東京都写真美術館は大規模改修工事のため2016年秋(予定)まで休館しています。1995年1月の総合開館以来、約20年間にわたり写真と映像専門の総合美術館として日本におけるセンター的役割を担ってまいりました。この度の改修工事で、設備機器の更新などを行い、公共施設としてより安心で快適な美術館へと生まれ変わります。最新の情報は、ウェブサイトや公式ツイッターで随時お知らせします。

Mini Information

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



「第5回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」1月下旬に審査結果発表

The 5th Tokyo Art Navigation Competition
The results will be announced in the late January

新進アーティストの発掘と支援を目的として、2011年より始まった「トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」。第5回となる今回は、Twitterによる人気投票を採り入れた審査で入選作品が選ばれます。受賞作品は、ウェブサイトTokyo Art Navigationにて、1月下旬に発表予定です。今後、『ART NEWS TOKYO』誌上でも、受賞作家のインタビュー、審査講評などを掲載していきます。

また、Tokyo Art Navigationではコンペティション応募期間以外にも、「アーティストファイル」に登録したアーティストの作品の閲覧、SNSで投票できる「アート作品ランキング」を実施しています。ぜひご覧ください。

Tokyo Art Navigation Competition was established in 2011 with the aim of discovering and supporting emerging artists. For the 5th edition, voting by the public through Twitter will be adopted to select the winning works. These will be announced in the late January on the Tokyo Art Navigation website. Interviews with the winners and reviews by juries will be published in this publication of ART NEWS TOKYO.

On Tokyo Art Navigation, works by the artists who registered under the Artist Files are always viewed not only for the application period for the competition. Voting for an "artworks ranking" is also conducted on social networks. Please visit the site.



Tokyo Art Navigationのコンテンツのひとつ、「アーティストファイル」では、アーティストが自身の専用ページにて、活動情報や作品を掲載することができます。登録は無料



「アート作品ランキング」は常時公開

東京都歴史文化財団へのご支援のお願い —東京の文化の継承と発展、創造のために—

公益財団法人東京都歴史文化財団では、12の都立美術館・博物館及びホール等の管理運営を行うとともに、文化事業の実施や文化活動への助成など幅広い事業を展開し、首都東京の芸術文化の振興と江戸東京の歴史的遺産の継承、発展に努めております。つきましては、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に当財団が主催する事業、展覧会に対するご支援を広くお願いしております。なにとぞ皆様のご理解、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 【ご支援の内容について】
一口 50,000円(個人・法人を問いません。)
- 【特典】
- 当財団が管理運営する都立美術館・博物館の展覧会など主催事業へご招待(共催展等、一部対象外の企画もご紹介します)。
 - 二口以上ご支援いただいた方には、展覧会の一般公開に先立ち行われます「内覧会」へご招待。そのほか、詳しくは公式ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.rekibun.or.jp/support/support.html>

約140メートルのエントランスを通った先には企画展に負けなぐらい内容充実の常設展。
地下にはひっそり隠れ家のようなサンクンガーデン。さらにトイレの壁面にまでアートを発見。美術館をすみずみまで巡ると、こんなに楽しい！
絵・文／溝口イタル

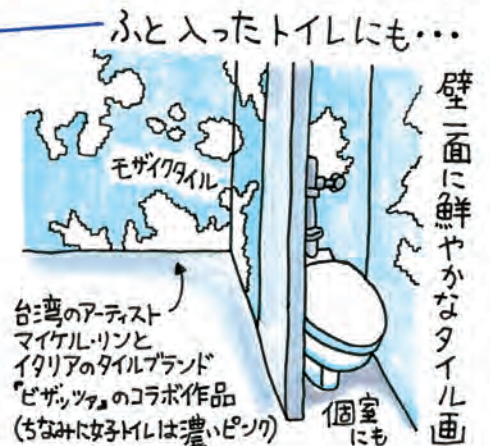
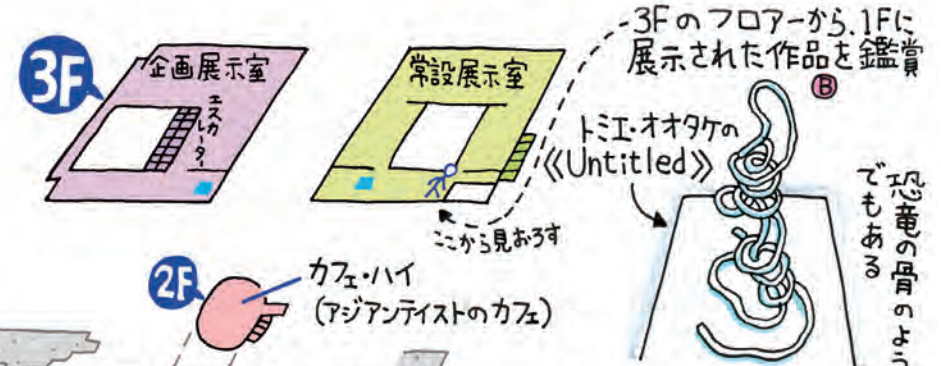
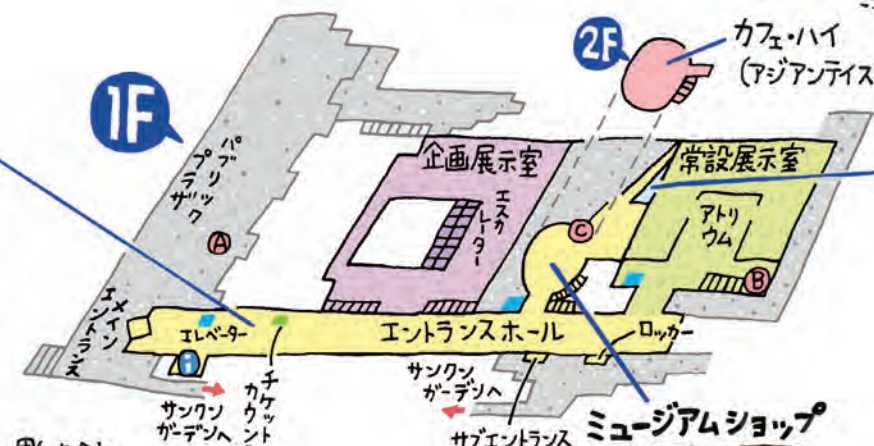
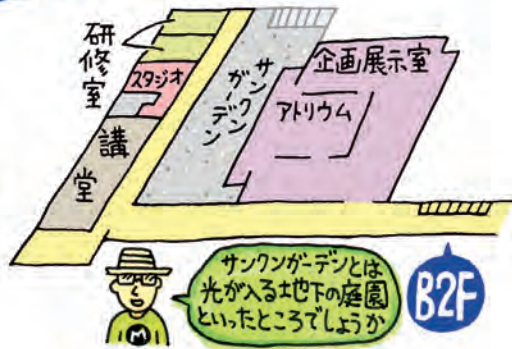
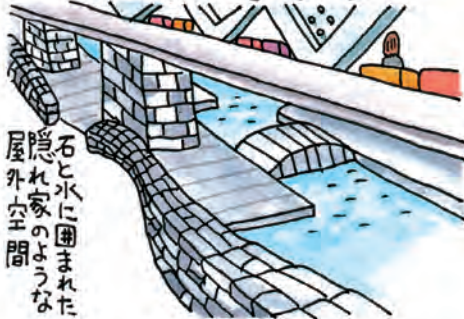
企画展示室と常設展示室を結ぶ長いエントランスホール



館のまわりに点在する野外彫刻のひとつ

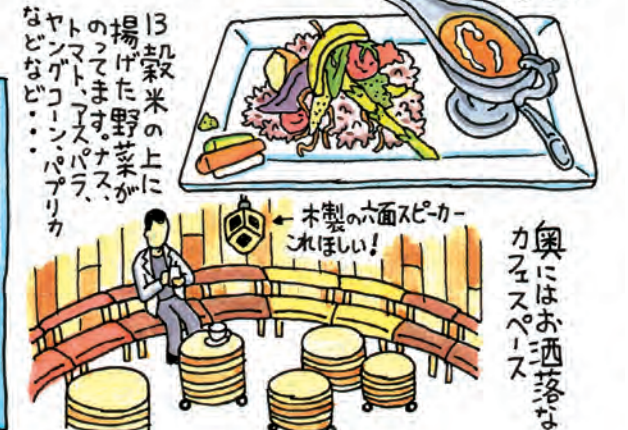


エントランスホールの下に広がるサンクンガーデン



コンソレストラン

野菜カレーライス(1460円)を昼食にいただきました



<http://tokyoartnavi.jp>

TOKYO ART NAVIGATIONのご案内

石川直樹 東京の記憶を旅する

初台篇 0-3歳

Naoki Ishikawa: Traveling Through My Memories of Tokyo
Hatsudai / To age 3

東京のアート情報を発信するウェブサイト、Tokyo Art Navigationでは、世界中を冒険する写真家・石川直樹さんが東京にフォーカスを当て、自身の記憶を辿る、新連載「石川直樹 東京の記憶を旅する」が始まりました。石川さんが生まれ育ち、今も生活の拠点となっている東京を改めて見つけ、撮り下ろしの写真と文章で綴ります。今回は「初台篇」のダイジェストを紹介します。

Tokyo Art Navigation, a website that provides information on Tokyo' art scene, looks at photographer Naoki Ishikawa, who travels the globe with camera in hand. This time the focus is on Tokyo. This new series, "Naoki Ishikawa: Traveling through My Memories of Tokyo," traces his memories. Ishikawa takes photographs of Tokyo where he was born, grew up and lives today as a document for his essay. This issue introduces "Hatsudai."

数十年の隔たり

初台に住んでいた頃はまだ弟が生まれる前で、両親と3人暮らしてました。当時住んでいたマンションが現存することを知り、父に住所を聞いて訪ねてみました。当時の写真を頼りに歩いていると、うっすらと記憶の断片が浮かんできました。マンション外壁一面に貼られている青いタイルの質感、近くの住宅の大きな樹に当たる光。しかし、どれも像を結びきれないぼんやりしたイメージです。3歳までのことなので、こんなものでしょう。

祖父の家とすき焼き

住宅地の入り組んだ細い道を抜けると「初台商盛會」。新しい建物の合間に、「ぼくが住んでいたときにもあったのかな」と思わせるたたずまいの店が混在しています。両親はここで買い物をしていたようですが、祖母はわざわざ渋谷の東急ストアや青山の紀ノ国屋まで行っていたようです。マンションの斜向かいに住んでいた祖父（小説家 石川淳）の夕食はすき焼きが多く、ぼくも祖父の家に行った時は食べていたとのこと。

ほとんど記憶にはないのですが、今もすき焼きは大好きなので、もしかすると舌の記憶として残っているのかもしれませんが。昔の写真を見ると、祖父の家は疑った数寄屋造りの一軒家だったようですが、今は跡形もなく、新しいマンションが敷地いっぱい建っていました。

フィルム

ぼくがフィルムで写真を撮っている理由は、単純にデジタルデータを扱う術を持っていないことがまず挙げられます。フィルムを使う方が



1978年頃の石川直樹さん

自分の思っている通りに仕上がるんですね。旅に出るとき、フィルムの現地調達はずりできないので、日本で用意していきます。荷もかさばるし、何枚も撮れるわけではないので、やはり不便です。しかし、その不便、不自由という制限があることによって、それを超えようとする力が働くという利点もあります。例えばフィルムを使っていて、あと3枚しか撮れないという時に、気持ちを揺さぶられるような風景に出会ってしまったら「あと3枚でこれを撮り切るんだ」という強い思いが生まれます。念のため何度もシャッターを切る、ということができないのは、フィルムのいいところにもなりうると思います。

Tokyo Art Navigationでは、石川さんが幼少期を過ごした「初台」の記憶について、前後篇の2回に分け

て掲載中です。今後も飯田橋など、石川さんの記憶に刻まれた場所を辿っていきますのでご期待ください。

An absence of several decades

My younger brother hadn't yet been born while I lived in Hatsudai with my parents. I barely remembered many of my memories while walking around the area with the photographs taken around that time. The texture of blue tiles covers the condominium's exterior, the sunlight shines on a large tree at a neighbor's house. All of these images are blurred, so that I cannot clearly focus. But that was until I was 3 years old. That's natural, isn't it?

My grandfather's house and sukiyaki

The shopping street of Hatsudai Shoseikai is accessed by a narrow winding path in a residential area. There are some old shops among new buildings. That makes me feel, "Those may have been there when I was around." My parents shopped in the street. However, I've heard that my grandmother went to Tokyu store in Shibuya and Kinokuniya in Aoyama. My grandfather, who lived across from our condominium, often had sukiyaki for dinner. I used to have it too when visiting his house. The taste may still remain in my memory.

Films

The reason I use film is that I can feel more satisfied with the completed work [than with digital]. When I travel, film is inconvenient because it is bulky and the number of shots I can take are limited. However, that kind of limitation has the advantage of generating the motivation to overcome it. When I happen to encounter a scene that moves my heart, a strong mind to "take the best shots within the remaining three cuts" emerges.

Tokyo Art Navigation has posted "Hatsudai," the area Ishikawa lived during his childhood, in two installments. His memories from other places will be traced in future issues. We hope you stay tuned.



石川直樹 Naoki Ishikawa

1977年東京生まれ。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』（赤々舎）、『POLAR』（リトルモア）により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』（青土社）により土門拳賞受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した「最後の冒険家」（集英社）ほか多数。



初台 9/30

Mini
Information

公式 Twitter、Facebook で情報を発信中

Tokyo Art NavigationではTwitter、Facebookでも、東京のお勧めアート情報や主催のコンペティションの告知、編集部からのお知らせなどを発信しています。

公式Facebook : TokyoArtNavi

公式Twitter : @TokyoArtNavi



Maps & Information

● 公益財団法人東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for
History and Culture
<http://www.rekibun.or.jp>

● トーキョー・アート・ナビゲーション

Tokyo Art Navigation
<http://tokyoartnavi.jp>

● 観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館の常設展・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展)

- ・小学生以下・都内在住・在学の中学生は無料
 - ・65歳以上の方は、一般料金の半額。毎月3水曜日は無料
 - ・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する都内在住の方は半額
 - ・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
- Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo)
- ・ Admission Free : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
 - ・ Half Price : Seniors (65 and over)
 - ・ Seniors (65 and over) are admitted for free on every third Wednesday.
 - ・ Adult residents of Tokyo accompanying children under 18 years old are admitted for half price on every third Saturday and Sunday.
 - ・ Fees may vary depending on the exhibitions and events. Please confirm if fees are not indicated.

● 休館日は各館ごとに異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください

Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map

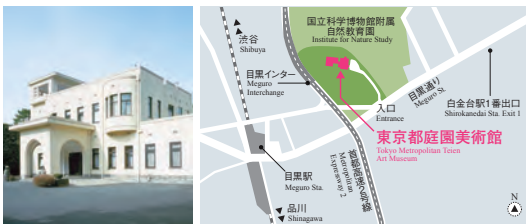


- JR山手線 JR Yamanote Line
- JR中央線 JR Chuo Line
- JR総武線 JR Chuo-Sobu Line
- 都営大江戸線 Toei Subway Oedo Line
- 都営三田線 Toei Subway Mita Line
- 都営新宿線 Toei Subway Shinjuku Line

- 東京メトロ半蔵門線 Tokyo Metro Hanzonme Line
- 東京メトロ銀座線 Tokyo Metro Ginza Line
- 東京メトロ丸ノ内線 Tokyo Metro Marunouchi Line
- 東京メトロ南北線 Tokyo Metro Namboku Line
- 東京メトロ副都心線 Tokyo Metro Fukutoshin Line

01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



所在地:〒108-0071 港区白金5-21-9 交通:JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分...

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

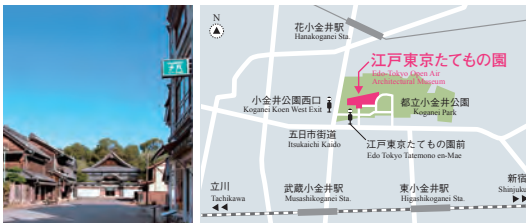


所在地:〒130-0015 墨田区横網1-4-1 交通:JR两国駅西口より徒歩3分...

Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Opening hours: 9:30-17:30 (19:30 Saturday) Closed: Mondays...

03 江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

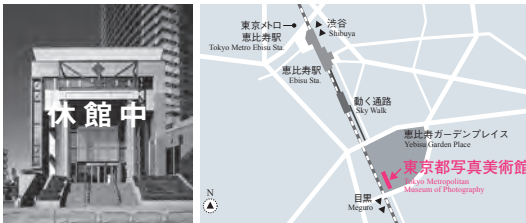


所在地:〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通:JR武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より...

Address : 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Opening hours: Apr.-Sep. 9:30-17:30, Oct.-Mar. 9:30-16:30...

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



改修工事のため全面休館中 2016年秋リニューアル開館予定 TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - WILL REOPEN IN AUTUMN OF 2016

所在地:〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分...

※上記の情報は休館前のもので *The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地:〒135-0022 江東区三好4-1-1 交通:東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分...

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 Opening hours: 10:00-18:00 Closed: Mondays...

06 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地:〒113-0033 文京区本郷2-4-16 交通:JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋駅東口...

Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Opening hours: 11:00-19:00 Closed: Mondays...

07 トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



所在地:〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立労働福祉会館1F 交通:JR・東急東横線・田園都市線...

Address: Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041 Opening hours: 11:00-19:00...

08 トーキョーワンダーサイトレジデンス

Tokyo Wonder Site Residency



所在地:〒130-0023 墨田区立川2-14-7アーツ菊川1F(オフィス501) 交通:都営新宿線菊川駅より徒歩9分...

Address: Arts Kikukawa 1F, 2-14-7 Tatekawa, Sumida-ku, Tokyo 130-0023 Tel: 03-5625-4433 URL: http://www.tokyo-ws.org

09 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地:〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通:JR上野駅公園口より徒歩7分...

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 Opening hours: 9:30-17:30 (Special Exhibition: 20:00 Friday)...

10 東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



所在地:〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通:JR上野駅公園口より徒歩1分...

Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 Opening hours: 9:00-22:00 Closed: New Year holidays...

11 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地:〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通:JR・東京メトロ・東武東上線...

Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 Opening hours: 9:00-22:00 Closed: New Year holidays...

※各施設では、保守点検、工事休館などにより、開館日時が変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。 *Opening hours may be subject to change at short notice due to facility maintenance or other unexpected circumstances. Please refer to the website of each facility for details.

ART NEWS TOKYO 2016.1-3

発行日 : 2016年1月1日(季刊)1、4、7、10月発行
発行 : 公益財団法人東京都歴史文化財団
企画 : 公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集 : 株式会社国書行会
デザイン : 宮外麻由(m-nina)
翻訳 : 重野佳園
印刷・製本 : 三松堂株式会社

© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。
※掲載した情報は2015年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催内容が変更になることがあります。

